

# 育てる苗木

森のホームステイでは、森の生き物たちにたくさんの食べ物を与えてくれるブナの仲間たちを、地域ごとに1種類ずつ育てます。

「どのくらい大きくなるのかな？」「葉っぱの形は？」  
「種の形も色々だね」など調べてみよう！

カシワは、秋に葉は枯れますが春に新しい芽が出るまで葉が落ちないため、海岸の防風林ぼうふうりんに用いられています。葉っぱは柏餅かしもちの葉として使われています。



カシワ  
(ブナ科)

山形県のブナ天然林てんねんりんの面積は日本一です。特に小国町の森林ではブナが約80%を占めていて、ブナの恵みとともに育んできた生活文化を「ぶな文化」と呼んでいます。



ブナ  
(ブナ科)

コナラは、炭やキノコ（主にシイタケ）の栽培用に使われています。真空川町や大蔵村、戸沢村では大きなきよぼくコナラが有名です。秋になるとほっそりしたどんぐりがなります。

コナラ  
(ブナ科)



ミズナラは、コナラよりも標高ひょうこうが高い場所で育ちます。秋になるとコロンとした大きなどんぐりがなります。普通のミズナラと葉の形が違うへんしゅ（変種）「ハゴロモミズナラ」は西川町てんねんきねんぶつの天然記念物に指定されています。

ミズナラ  
(ブナ科)

